

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	03	02	04	134660	少年センター運営事業費		
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-3	生涯学習の推進				
	施策	2	青少年の社会教育				
目的	青少年の非行防止を図る。						
対象	青少年（小学生から20歳未満）						
意図	青少年を取り巻く環境の浄化を図り、健全な青少年を育む。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○少年補導委員による街頭補導活動 ○青少年問題協議会の開催							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		○事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	街頭補導活動数	回	計画	380	350		
			実績	319	245		
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①			目標				
			実績				
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性	少年の非行防止及び健全な育成に関し、市が主体となり関係機関と協調を図り効果的な活動を推進する。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	警察、防犯協会、スクールガード等地域ボランティア等が連携することで更に成果向上が見込まれる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	巡回計画や集計報告等最低限の事務を職員が行っている。最小経費のため、削減できない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民を対象としているため公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
街頭補導活動については、少年補導委員数が減員し、補導活動を行う班編成の調整を行ったことから、活動指標計画に対する実績が前年度に比較し減少した。少年の非行防止啓発において街頭補導活動は重要な取り組みであり、次年度へ向けて少年補導委員委嘱者の増員へ向けた検討をしていきたい。 環境点検活動として、有害図書自動販売機の設置場所及び設置台数の状況を県や防犯協会と情報共有するとともに、設置場所周辺環境に問題（有害図書類の散乱など）があった際には、花巻警察署へ情報提供するなどの調査活動を展開した。次年度以降においても継続して活動する必要があると考える。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	02	04	134660	少年センター運営事業費

単位：千円

	27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	993	861		△ 132
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	993	861	△ 132

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

犯罪や非行のない明るく安全で住みよい地域社会を実現するため、市民の防犯意識を高める。

事業概要

- 少年補導委員による街頭補導活動
- 青少年問題協議会の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・花巻警察署、花巻市防犯協会、地域ボランティア団体等との連携した活動を行う。

担当部署 部名 市民生活部 課名 市民生活総合相談センター 担当係長 姉帯 工 内線 460 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◆少年センター運営事業 861千円

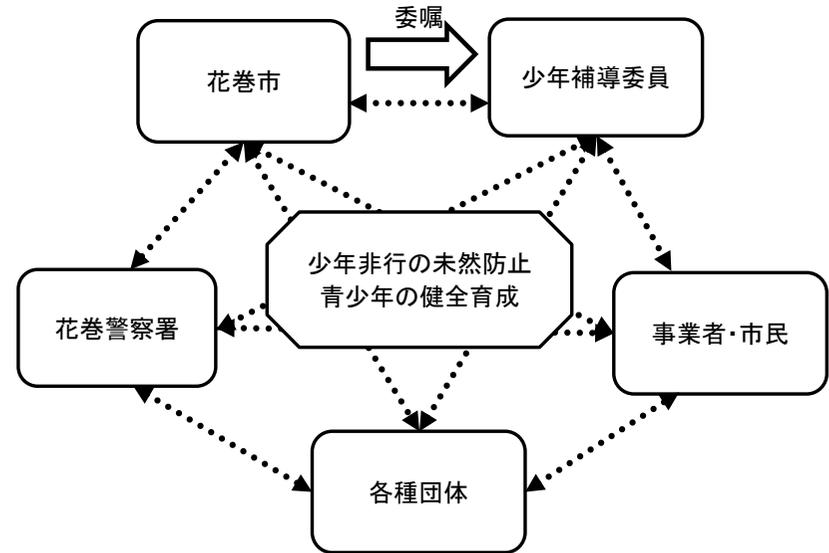
①少年補導委員による街頭補導活動 772千円

少年補導委員 69人（うち教員21人、地域推薦等48人）

（地区別：花50人、大4人、石10人、東5人）

報酬21千円、報償費772千円、旅費14千円、需用費24千円、役務費6千円、負担金8千円
職員手当16千円

（報償費内訳：少年補導委員謝礼 1,200円×643人（延べ）＝772千円）



《参考》H28年度街頭補導活動実績 (活動人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
午前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
午後	12	9	10	10	11	11	11	13	16	17	14	13	147
夜間	4	12	15	10	13	9	11	6	6	5	7	7	98
計	16	21	25	20	24	20	21	19	22	22	21	20	245

補導件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---